

京都文教短期大学 令和元年度 FD 活動報告

本学では、教育の質向上をめざした教育の改善に取り組んでいる。

本年度は、FD 委員会として以下の活動を行い、教育の改善の円滑な推進に協力を行った。

【活動内容】

- ・全授業(専任・非常勤講師)における授業参観を実施した。
- ・「授業評価アンケート」を実施し、結果分析と各学科への共有を行い、教務部長に報告した。
- ・平成 30 年度「授業評価アンケート」(前「授業をよりよくするためのアンケート」)の結果の分析、問題・課題の提起、課題解決のための対応を FD 委員会が中心となり各学科と共有した。
- ・学外有識者を招聘した FD 委員会を開催した。
- ・「FD 研修会」を、教務委員会等と連携して 5 回開催した。
- ・学外 FD 研修会、各種セミナーへの参加

① 授業参観の実施

授業参観は、非常勤を含め全開講科目について年間を通じて授業参観可能として 5 年になる。今年度は前期・後期併せて昨年より微増の 15 件(昨年度 12 件)となった。一部の教員は、授業の注目するポイントなどを事前に周知し、参加を募った。

次年度は、教員は意見の欲しい部分を事前に示すなど、FD 委員会で活性化の方策を検討する。

② 「授業評価アンケート」について

前期・後期の 13 回～15 回目の授業時実施を、科目担当教員(専任・非常勤講師)に依頼をし、実施した。

科 目	学期	開講授業数	実施授業数	履修者数	回答者数	回答率(昨年度)
総合教養科目	前期	47	47	1,797	1,580	87.9% (76.1%)
	後期	32	31	1,006	705	70.1% (64.2%)
ライフデザイン学科 専門科目	前期	42	42	1,252	932	74.4% (58.8%)
	後期	33	33	997	620	62.2% (60.7%)
食物栄養学科 専門科目	前期	42	41	1,550	1,233	79.5% (72.4%)
	後期	51	51	1,572	1,174	74.7% (70.8%)
幼児教育学科 専門科目	前期	107	104	4,489*	3,288*	73.2% (60.6%)
	後期	119	115	4,022*	2,189*	54.4% (47.1%)
短 大 全 体	前期	238	234	9,088*	7,033*	77.4% (65.7%)
	後期	235	230	7,597*	4,688*	61.7% (55.5%)

*1 授業につき、複数のアンケート回収を実施している場合は、延べ数を計上。

本年度も全クラスを対象にアンケートを実施した。

全教員へのアンケート実施協力依頼の徹底や、スマートフォンでの回答方法の周知等を行い、回答率は大幅に改善した。アンケート結果の信頼性を高めるためにも、アンケート期間の延長など、次年度も引き続き回答率をあげる方策を FD 委員会で検討する。

アンケート項目については、従来前年度の委員会で設定していたが、国の動向等に迅速に対応できるよう、次年度の項目については次年度のFD委員会で設定する。

③ 授業改善を図る制度的取り組みについて

- ・授業改善計画および報告書の作成およびモデル例の検討

「授業評価アンケート」結果は、学期毎に各授業担当教員に書面にて報告される。教員は学期末アンケート結果から得られた所見を活用し、各自の授業法の改善等を記載した「授業改善計画及び報告書」を提出する。

FD委員会では教員から提出された授業改善計画の内容を確認し、よりよい授業改善計画を作成できるようなモデルとなる内容を選出、報告書作成の注意点や分析視点などについて伝達し、共有をはかった。

- ・授業評価アンケート評価平均値の分析

各授業・各項目のアンケートの評価平均値について、FD委員会でその数値の高低等に関して分析を行い、教務部長へ報告した。

- ・平成30年度 授業評価アンケート結果の分析

前年度の授業評価アンケート結果について、例年は学科全体での分析を行っているが、今年度は分析に使う集計方法に「講義とそれ以外」、「専門領域ごと」を追加して分析を行った。

また、アンケート集計結果に加え、修得単位数やGPA、学習行動調査結果とも照らし合わせて各学科の分析をFD委員が行い、各学科へ報告をした。

- ・学外有識者を招聘したFD委員会の開催

平成30年度授業評価アンケートの分析結果について、学外有識者を招聘して報告を行い、評価を受けた。教授会（10/16）にて評価内容と課題を共有し、FD委員会にてその対応を検討、12月11日第3回FD研修会を計画・実施した。

④ FD研修会の実施

教育の質向上をめざし、より良い授業を実施するために、本年度は以下の研修会を実施した。

◆第1回 6月19日（水）

テ ー マ：「アセスメント・ポリシーの確立に向けて」

概 要： 令和元年9月から導入予定の、学習成果可視化のためのシステム「Assessor」の運用に先立ち、本学のアセスメント・ポリシーに関する具体的な方針が共有された。

講 師：副学長 森井秀樹

参 加 者：全専任教員、職員（希望者）

◆第2回 7月17日（水）

テ ー マ：「Assessor 運用開始に向けて～ 教学マネジメントへの活用事例のご紹介 ～」

概 要： 第1回FD研修会を受けて、「Assessor」の実際の使用方法に関する説明と、教学マネジメントへの活用事例の紹介に加え、カリキュラムマネジメントの概要に関する研修が実施された。

講 師：株式会社 学びと成長しくみデザイン研究所 桑木康宏氏

参 加 者：全専任教員、職員（希望者）

◆第3回 12月11日(水)

テーマ：①「カリキュラム運営の向上ワーク～学生の学習時間を伸ばす作戦検討～」

②「シラバス作成方法について」※教務委員会共催

概要：①学外有識者から指摘のあった「時間外学修」について、今後の取り組みに必要な視点と学修時間のデザインについて研修およびワークショップを行った。

②教務委員会によって策定された令和2年度シラバス項目について、作成における変更点と注意点が説明された。

講師：①株式会社 学びと成長しくみデザイン研究所 桑木康宏氏

②教務課 塩竈義晴

参加者：全専任教員、非常勤講師(希望者)、職員(希望者)

◆第4回 12月25日(水)

テーマ：「LMSを活用した授業改善FD研修」※京都文教大学FD委員会共催

概要：令和元年12月にバージョンアップされた学習支援システム「UNIVERSAL PASSPORT RX」のLMSを活用した授業改善に関する研修を行った。

講師：日本システム技術株式会社 山本祥平氏

参加者：専任教員(希望者)、職員(希望者)

◆第5回 2月27日(木)

テーマ：学長重点SD研修会「高大接続改革の理解と実際」

概要：高大接続改革をテーマに、その基本的な内容を再確認するとともに、実際の高校現場でどのようなことが起こっているのかを知り、今後本学の入学生にどのような変化が起こりうるのかについて研修を行った。

講師：京都府立東稜高等学校 大隅祥代氏

株式会社進研アド 横山宏治氏

参加者：全専任教員、全職員

⑤学外FD研修会、各種セミナーへの参加

本年度は、大学コンソーシアム京都主催のFD研修プログラム等、学外FD研修会・セミナーに教職員が参加した。今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による開催中止の影響もあり、参加者は少数となった。

他大学の有効な事例を収集して本学での活用を検討する等、学外研修内容を学内研修会で役立てることも必要であることから、次年度も種々の学外研修の場を紹介するとともに、情報の共有・活用を行う。

⑥今後の課題

1. 授業参観の活性化

学科内での参観の活性および「授業参観」のカウント方法の検討

2. 授業改善を図る制度的取り組み

「授業時間以外の学習」について今後も継続した取り組みが必要であるが、2019年度授業評価アンケートか

ら授業時間外学習の項目が削除されたため、「学習行動・学修時間」アンケートおよび GPA・取得単位数等も併せて評価、検討する必要がある。

授業評価アンケート結果の信頼性を高めるために、アンケート期間の延長など回収率を高めるための方策を検討する必要がある。

3. FD 研修会の実施

- ・アセスメントのデータ活用方法、授業・学生指導への活かし方などの研修
- ・学科別に FD 研修会の開催：問題解決や学びの活性につなげることも必要。

4. 学外 FD 研修会、各種セミナーへの参加

他大学との情報交換も含め、委員が参加するよう促す。